

2024年9月30日

## News Release

芙蓉総合リース株式会社

(コード番号：8424 東証プライム)

代表取締役社長 織田 寛明

芙蓉オートリース株式会社

代表取締役社長 長野 克宣

### **「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」寄付実施のお知らせ ～中道リース株式会社提携分～**

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）および芙蓉オートリース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 長野克宣、以下「芙蓉オートリース」）は、中道リース株式会社（北海道札幌市、代表取締役社長 関崇博、以下「中道リース」）提携分の契約について、「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」（以下「本プログラム」）に係る寄付を実施しましたのでお知らせいたします。

本プログラムは2020年10月より開始したもので、「ゼロカーボンシティ<sup>※1</sup>」を表明した自治体エリア内に設置される新エネルギー自動車（例：ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車）、再生可能エネルギー・省エネルギー設備機器等を導入するお客様（企業、地方公共団体、医療機関・教育機関等の団体）に対して、初期費用なしで導入可能な、リース・割賦等のファイナンスを行うとともに、その契約額の一部についてお客様と連名で寄付を行う寄付型プログラムです。

芙蓉リースおよび芙蓉オートリースは、2022年3月に中道リースと本プログラムの推進にかかる業務提携をいたしました。中道リースが主要な営業エリアとする北海道を中心に、中道リースのお客様に向け、芙蓉リースグループと中道リースとの間のリース契約等を通じて本プログラムを提供しております。

本プログラムは脱炭素を志向する地域の再エネ化をサポートするものであり、再生可能エネルギーの拡大に欠かせない「自立分散型エネルギーシステム」の推進および地域社会への貢献を目指し、ゼロカーボンシティを表明する自治体・企業・団体の脱炭素への取り組みを支援してまいります。

芙蓉リースグループは、2022年からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しております。

今後も、本プログラムの推進により一層力を入れ、お客様とともに脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

## ◆今回の寄付先

### 北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会

北海道4町（足寄町／下川町／滝上町／美幌町）が連携して、共通の地域資源である森林の持続的な利用を推進することにより地域の活性化を図り、低炭素社会の実現に貢献することを目的として活動されており、その目的に即した寄付金の活用を通じ、気候変動問題への取り組みを予定されています。



(写真左より)

#### 北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会

理事兼足寄町長 渡辺 俊一様

会長兼下川町長 田村 泰司様

#### 中道リース株式会社

代表取締役社長 関 崇博様

#### 芙蓉総合リース株式会社

顧問 細井 聡一

執行役員札幌支店長 古賀 陽一郎

#### 芙蓉オートリース株式会社

常務執行役員 安藤 幸治

寄附金贈呈式は下川町桜ヶ丘公園内にある「ガーデニング・フォレスト フレペ」にて開催。また、贈呈式後には下川町有林を視察し、寄付金を活用した取り組みである循環型森林経営が実践されている様子を視察いたしました。



町有林において循環型森林経営の様子を視察



樹齢60年：  
CO<sub>2</sub>吸収頭打ち、製材適齢。出荷し新たな植林へ。



樹齢9年

若い樹齢の間がCO<sub>2</sub>の吸収が高い



樹齢20年

また、下川町「一の橋バイオビレッジ」では、地場の森林バイオマスを活用した地域熱供給システムによって、「集住化住宅の暖房等への活用」や「菌床しいたけ栽培」に取り組まれていることを現地にてご案内いただきました。



地場の森林バイオマスを活用し、地域熱供給システムを稼働

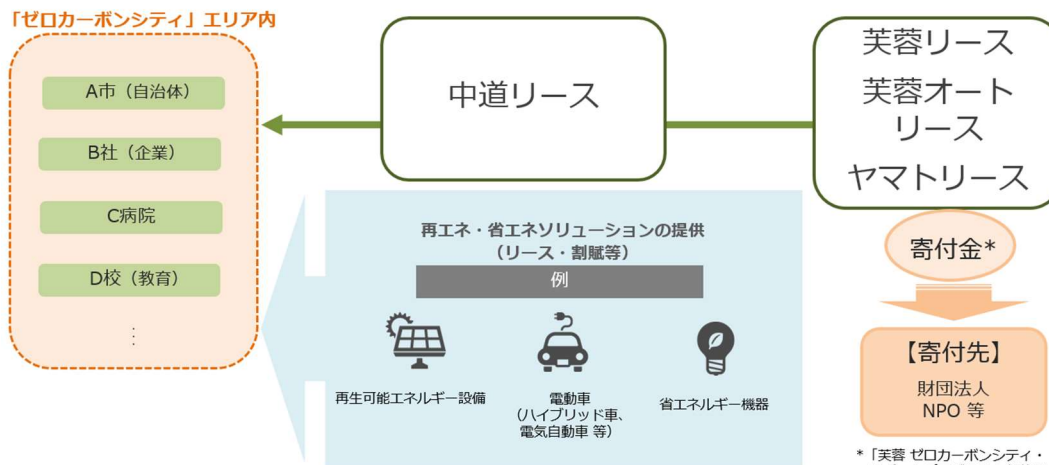


集住化住宅



椎茸栽培

◆中道リースと提携しているプログラムの概要図※2



\*「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」契約額の0.2%相当額を寄付

商品・サービスの詳細につきましては以下リンクをご覧ください。

<https://www.fgl.co.jp/service/zerocarbon.html>

※1 ゼロカーボンシティについて

環境省が推進する枠組みで、「2050年までに温室効果ガス又は二酸化炭素の排出量を実質ゼロ」にすることを目指す旨を、首長自らが又は自治体として公表した地方自治体のこと。

※2 ヤマトリースは2024年5月からプログラムを提供しているため、今回の寄付対象（2023年度に契約した案件）には含まれておりません。

## <関連プレスリリース>

中道リース株式会社との「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」業務提携について（2022年4月1日）

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8424/tdnet/2102466/00.pdf>

「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」寄付実施のお知らせ

（2024年9月12日）

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8424/tdnet/2501099/00.pdf>

以上

### お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）山崎・渡邊

電話番号：03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>

芙蓉オートリース株式会社 営業企画部

電話番号：03（5275）2934 URL：<https://www.fuyoauto.co.jp/>